

## CBI コースとしての短編講読講座 A JAPANESE SHORT STORIES COURSE AS A CBI COURSE

ハドソン遠藤陸子  
Mutsuko Endo Hudson  
ミシガン州立大学  
Michigan State University

### 1. 始めに

筆者の大学では 2004 年より、「3 年の日本語」コース履修済みの学生を対象に「短編講読」の講座を開いている。受講生は毎回 16～17 名で、2011 年の講座では、「4 年の日本語」履修済み 4 名、履修中 12 名、継承日本語学習者 1 名が在籍した。授業は週 2 回、80 分ずつで、1 学期は 15 週間である。読み物はすべて、語彙や文型に関係なく、内容を基底に選択する。年によって短編の選択は多少変わるが、講座の根本は変わらない。今回は、神話、昔話、純文学、ショートショート、掌編小説、ミステリー／推理小説、エッセイの 7 ジャンルから 32 作を選び、その他、漢字、歌、俳句なども含めた(次ページ表 1 および資料 1 参照)。2011 年に始めた試みとしてはウィキの利用がある。周知のように、読解には背景知識の有無が重要な役割を担う。神話や昔話はイラスト付きであるが、それ以降、「蜘蛛の糸」からはビジュアルがほとんどないため、各話用にウィキページを作り、関連する画像、地図、動画、歌などを掲載した。また、「ドスの効いた声」(佐野洋「嘘つきの足」)のように、話を読んだだけでは想像がつかないものは、ウィキに声を載せ、授業で聞かせた。東日本大震災での日本人の対応を理解し支援する一助として「日本のために祈る」というメッセージ集のウィキページも作り、被災地の子供達が歌っていたという「ひとりの手」も掲載した。

CBI と言っても様々な定義があるが、Stryker and Leaver (1997; 和訳筆者)によると「言語学習と内容学習の完全な融合」を意味し、CBI は学生の動機付け、言語習得の促進、文化的知識の増大に寄与するのみならず、より楽しく充実した学習経験を可能にする。カリキュラムは、語彙や文法ではなく扱う分野を基底とし、生の言語・テキストを使い、学習者のニーズに合ったものでなければならない。当講座にはこれらの全項目が当てはまる。形の面では、近松 (2009:144) の CBI モデルの中の“Theme-based”、つまり「言語教師による内容重視の言語コースで、一つのテーマ・トピックに沿って各ユニットが構成され、言語学習は偶発的ではなく、文法項目や機能等の説明が明示される場合が多い」の範疇に入る。「コンテンツ」としては、色々な短編を読んで行く中で、専門的知識とは到底言えないが、「日本の短編とはどういうものか」を学ぶ。同時に、日本の深層文化・日本事情についても知識を得る。

当講座の根底のアプローチがプロフィシアンシー教育であること、「全国学習基準」(スタンダードズ)の目標 5C 到達を目指し、5 言語スキル(聴、話、読、書、文化)を融合すること、また受容・産出の両技能を重視することなどについては既に述べた(ハドソン 2008)ので、本稿では CBI コースとしての側面に焦

点を当てる。講座の目的、進度、宿題、評価法などに関しては資料2をご参照戴きたい。

## 2. 講座の概要

### 2.1. 教材

教材としては次の4種を使った。

#### (1) a. コースパッケージ

内容は表1に記載。話の終わりに意外な展開や「オチ」があるものは、最後のページだけコースパッケージの別の所に入れておき、受講生に予測させた後でクラス全体で読む。

#### b. 自習用参考書

阿久津智 (1998) 『絵でわかるぎおんご・ぎたいご』：毎回授業の始めに3-4分の小テストを実施。目的は、特に文学鑑賞に重要な、擬音語・擬態語の知識を増やすため、また受講生の時間厳守を徹底させるため。

#### c. ビデオ

- 日本語ジェンダー学会 (2005) 『物語を通して見る日本語とジェンダー：「竹取物語」と「鶴の恩返し」』
- ドラマ『女刑事みずき〜京都洛西署物語〜』：「嘘つきの足」を読んだ後に刑事物特有の表現を耳で確認し、状況を視覚的に把握するため。

#### d. ウィキ

各短編に関連する画像、地図、動画、歌など、及び「日本のために祈る」を掲載。

表1. コースパッケージの内容

予備	「読解役立ちサイト」「ジャンル・作品紹介」「上手な感想文の書き方」 漢字学習関連資料など
神話	①「イザナギとイザナミ」(漫画)
昔話	②「浦島太郎」 ③「花咲か爺さん」 ④「桃太郎」 ⑤「舌切り雀」 ⑥「十二支の始まり」 ⑦「姥捨て山」 ⑧「かぐや姫」 ⑨「鶴の恩返し」
純文学	⑩芥川龍之介「蜘蛛の糸」
ショート ショート	⑪星新一「誘拐」 ⑫同「愛用の時計」 ⑬同「不眠症」 ⑭同「ボッコちゃん」 ⑮秋山末雄「因縁」 ⑯三藤英二「俺達、ボランティア」
掌編小説	⑰内海隆一郎「真夜中の駅」 ⑱同「子猫」 ⑲森 絵都「彼女の彼の特別な日」 ⑳同「彼の彼女の特別な日」 ㉑北村 薫「百合子姫」 ㉒同「怪奇毒吐き女」
ミステリー 推理小説	㉓赤川次郎「会話」 ㉔五谷 翔「最後の仕事」 ㉕大沢在昌「気つけ薬」 ㉖佐野 洋「嘘つきの足」
エッセイ	㉗江國香織「そばにいてくれた？」 ㉘高橋源一郎「白紙」 ㉙村上春樹「ハイネケンビールの優れた点」 ㉚「桑田語、コンビニ語」 ㉛森田真由美「心の扉をたたく音」 ㉜遠藤周作「白い木蓮」
その他	日本の歌、『アイ・ミス・ユー』、詩、俳句、短歌、川柳、小話、諺・慣用語、 「気」のつく表現、読解問題、擬音語・擬態語、スタディガイド

## 2.2. 授業内容

受講生は各読み物内の自分の担当箇所7～8行の単語や漢字を調べ、読みを練習して授業に臨む。単語表は前夜までに教師にメールで送ることが義務づけられている。担当教師は間違い等をチェックした後、全員の単語表を3～4ページにまとめ、当日プリントとして配布する。この分担の方法により、受講者の負担を押えつつ、授業時間内に読む量を従来の何倍も増やすことが可能になった。全員が同じ箇所を勉強して来るという伝統的な方法では読める量は限られる。昨今、学習者に学習の責任をできるだけ持たせることが主唱されているが、「学習者がより多くの責任を持つ事によってより多くの学習がなされ、教師も学習者も成功の念をより強く感じる」(Oxford 1990:11; 和訳筆者)。

授業では一人の学生が音読し、他の学生は単語表を見ながら黙読するという形で、全員一丸となって読み進む。作品を読む前に、画像、動画、地図などを見てスキーマを活性化させる。読前あるいは読後に、ジャンル、作品、作家などに関する簡単な説明を読む。読んでいる最中には、内容を確認し、特筆すべき表現、文型、概念、話の構成・書き方、読みのストラテジーなどがあれば質疑応答をする。単なる「読解」(comprehension)に止まらず「解釈」(interpretation)にまで進むべく(National Standards in Foreign Language Education Project 1999:36-37)、結末の予測、著者の意図の考察、異なった視点からの事態の把握なども行なう。読後には、教訓、感想、話のその後の発展、日本的と思われる発想・行動、日本事情、日米比較、自分の生活・体験との比較などに関するディスカッションをする。また、各ジャンルの1つの話について感想文を書き、発表する。この際、発表者以外の受講生は、全員の感想文を載せた印刷物を黙読しながら聞く。これらの活動は、大学教育における重要な柱である批判的思考力(critical thinking)の育成につながるとされる。(コンテンツベースにおける批判的・創造的思考活動については近松(2011 掲載予定)を参照のこと。)期末にはグループで短編を書き、創作短編集を作る。そして、発表時には受講生間で「最も面白い短編」、「最も読み方が上手な人」を投票で選ぶ。

このように、本講座ではブルームの分類(Bloom's taxonomy)の6段階すべてを無理なく実現することができる。つまり、認知思考モデルでの、「知識の取得、理解、応用、分析、統合、評価」である。図1にブルームの分類の原型と修正版(Forehand 2005:3)を引用する。

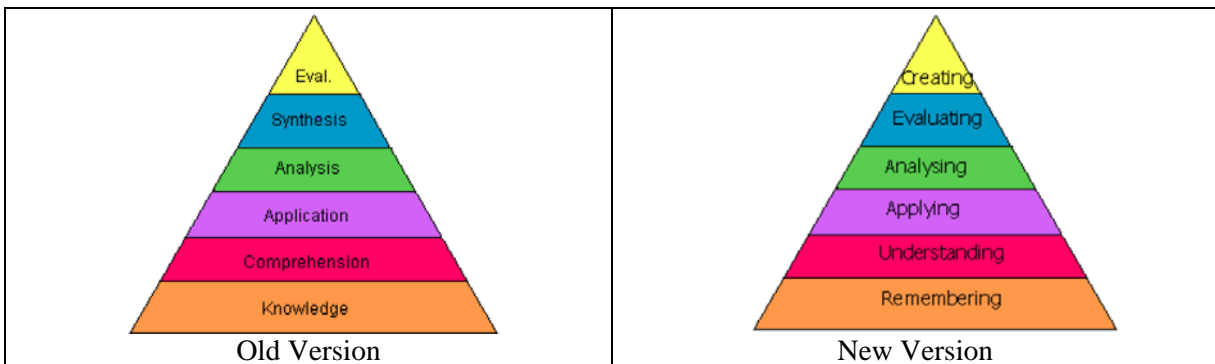


図1. ブルームの分類の6段階

なお、音読に対しては批判が多い（岡崎ほか 1992, 駒井 1987, Rivers 1981 など）が、この講座の設定では問題がないと思う。受講生は意味が（大体）分かって読むのであり、しかもスラスラ読めるからである。また、お話や詩などの音読は、母語話者にとっても日常的、自然な活動である。音読の利点は色々あるが、この講座で特に顕著なのは速く読む習慣が付き、発音も目立って上達するということが挙げられる。受講生がお互いの音読を聞いて鼓舞される事は明白である。

### 3. コンテントとしての「日本の短編」

本講座のコンテントは「日本の短編」である。ジャンル、作品、作家、書き方などに関する（常識的）知識はその重要な要素であり、日本人が一般に知っている昔話などの内容、教訓についても受講生は学ぶ。また、話で扱われる題材から日本の深層文化・日本事情の様々な面にも接する。（日本事情・日本文化の教育に関しては、国際交流基金（2010）をご参照戴きたい。）

#### 3.1. ジャンル

神話、昔話、純文学、ショートショート、掌編小説、ミステリー／推理小説、エッセイとはどういうものなのか、それぞれのジャンルに入る前に簡単な説明文を読ませる（ハドソン 2008）。定義は大辞林などに依ったが、ウィキペディアも参考にした。例えば、「見るなのタブー」については以下のようにある。「世界各地の神話や民話に見られるモチーフの一つである。何かをしている所を『見るな』とタブーが課せられたにもかかわらず、それを見てしまったために悲劇（多くは離別）が訪れるという類型パターンを持つ」。このモチーフはコースで読む神話や昔話にも見られる（2a 参照）。読後、受講生は日本の昔話によくある他のモチーフや欧米の童話との比較などについても話し合う（2b-2d）。

##### (2) a. “見るなのタブー”

「イザナギとイザナミ」「浦島太郎」「舌切り雀」「鶴の恩返し」

##### b. 欧米の童話と比べて“暴力的”

「桃太郎」の鬼征伐、「舌切り雀」、「花咲か爺さん」のポチが殺される

##### c. 子供のいない老夫婦が子供を授かる

「桃太郎」「かぐや姫」

##### d. 目的達成のため、無理難題を解いたり試練をくぐり抜けることが要求される

「かぐや姫」「姥捨て山」

この他、ジャンル特有の構造、言い回しなどにも触れる。例えば、昔話には「昔ある所にーがありました／いました」などの冒頭の句、「めでたしめでたし」などの終わりの句、「ーがーをしますと…」などの言い回しがよく現れる。他のジャンルでは、いつ、どこで、誰がということを設定せずに機才をてらうことも多い。また、冒頭あるいは末尾に会話文が現れるもことも珍しくない。

##### (3) 赤川次郎「会話」

冒頭：「お久しぶりでございます」

顔なじみのウェイターの言葉は、もちろん当り前の挨拶でしかなかったの

だろうが、由美にはいくらか別の気持ちがこめられているように聞こえた。

(4) 内海隆一郎「真夜中の駅」

末尾： ホームに向かって叫ぶと、応答があった。

「了解、…… 業務完了」

### 3.2. 作品

作品に関する知識もコンテンツの一部である。「イザナギとイザナミ」、昔話、「蜘蛛の糸」を読む前あるいは読んだ後で、作品についての簡単な紹介を和文なり英文なりで読む（ハドソン 2008 参照）。昔話には多少異なったバージョンがあるものも少なくない。授業活動の一つとして、「花咲か爺さん」と「姥捨て山」に関しては、コースで読んだ話と他のバージョン（一連の絵）とを比べその相違点を述べさせることもする。

「かぐや姫」と「鶴の恩返し」を読んだ後には、前述のビデオ（日本語ジェンダー学会 2005）でそれぞれの作品の背景と解説を聞き、ナレーション付きのイラストでやや内容の異なる話を視聴する。「かぐや姫／竹取物語」に関しては、日本最古の物語であること、かぐや姫が地位の高い男性からの求婚を断ったのは女性として当時珍しく、金銭や物質で心変わりすることのない女性として捉えられること、衣を着ることによって別世界（月）の存在になるというモチーフは他の日本の話にも見られること、帝が不老長寿の薬を焼却したことによって山から煙が昇ったとあるが、これによって当時、富士山は活火山だったことが示唆されることなど、受講生は大いに興味を持って聞く。「鶴の恩返し」に関しては、日本の話では動物が一時的に人間の姿を取るものが多いのに対し、西洋の話では人間が動物の姿に変えられるが最後にはまた人間に戻るといった類が多いことなどを学ぶ。

掌編小説の「彼女の彼の特別な日」「彼の彼女の特別な日」（森絵都）と「百合子姫」「怪奇毒吐き女」（北村薫）はともにダ・ヴィンチ編集部編『秘密。私と私のあいだの十二話』からの借用であるが、この本に含まれている話はすべて「ひとつのストーリーを2人の別の主人公の視点で綴った」もので、面白い。1話につき長さが4ページというのも手頃である。授業では、文庫本の実物を見せたり、日本推理作家協会の存在や「因縁」（秋山末雄）と「俺達、ボランティア」（三藤英二）がショートショート・コンテストの入選作品であることなども話す。

### 3.3. 作家

有名作家に関する常識レベルの知識もコンテンツの一要素を成す。話を読む前に、2011年の場合は、赤川次郎、芥川龍之介、江國香織、遠藤周作、佐野洋、星新一、村上春樹について簡単な紹介文を英文か和文で読んだ。たとえ短い話でも、有名作家の作品を目標言語で読むというのは学習者にとって嬉しいことであり、達成感が感じられ、動機付けにもつながる。日本人一般に知られている作家の名前を知っていることは文化的能力の一部でもある。

例えば、星新一が「ショートショート的神様」と呼ばれていること、東京大学の大学院で化学を勉強したこと、登場人物は名前を使わずにN氏、S氏などと呼ぶことが多いこと、ラブシーンを書かないこと、森鷗外が大伯父であることなど、雑多な知識も作品によっては鑑賞に役立つ。

村上春樹の「ハイネケンビールの優れた点について」には英語での苦労話が出て来る。ニュージャージーに住んでいた時、ガソリンスタンドで“Fill it [sic.] up, please”が流暢に発音できなかったこと、ハワイで“Coors”を飲みたかったのに、「いちいち表情も変えて、ジェスチャーまで交えて、汗をかきながらありとあらゆる発音で試してみたのだけれど、結局駄目で、むなしくバドワザーを飲んだ」(p. 54) ことなどが書いてある。その点、「ハイナケン」の発音は楽に通じるというのがタイトルの所以である。ガソリンに関しては、マサチューセッツ州に移り、暫くしてから、「十ドルぶん入れて (Ten bucks, please) と言ってもよかったんだ」(p. 52) と気づく。村上の小説(英訳)を読んだ受講生も中には必ずいるので、この作家のユーモアに富んだ一面を知るのは楽しく、話し合いでは自分たちの日本での苦労話にも花が咲く。

### 3.4. 内容・教訓

日本人が一般的によく読む話の例とその内容、そして日本の子供はどんな教訓を学びながら育つのかを、受講生は短編講読を通して知る。例えば「イザナギとイザナミ」、「十二支の始まり」その他の昔話、「蜘蛛の糸」などの内容は広く知られている。以下は今回読んだ話に示唆される教訓の例である。

- (5) a. 勸善懲悪：「花咲か爺さん」「桃太郎」
- b. 因果応報：「浦島太郎」「花咲か爺さん」「舌切り雀」「鶴の恩返し」「蜘蛛の糸」
- c. 欲を張るな：「鶴の恩返し」「蜘蛛の糸」
- d. たくさん食べると大きくなる：「桃太郎」
- e. 動物には優しく：「浦島太郎」「舌切り雀」「鶴の恩返し」
- f. お年寄りには敬え：「姥捨て山」
- g. 恩返しをせよ：「鶴の恩返し」

上記(5g)の「恩返し」という概念が日本の文化では重く見られるということの例として、ウィキに「トイレの神様」という最近流行した歌を載せ、授業で歌詞を見ながら聴いた。該当の部分以下に抜粋する(下線筆者)。

- (6) 「トイレの神様」作詞：植村花菜/山田ひろし、作曲：植村花菜  
次の日の朝 おばあちゃんは 静かに眠りについた  
まるでまるで 私が来るのを待っていてくれたように  
ちゃんと育ててくれたのに 恩返しもしてないのに  
いい孫じゃなかったのに こんな私を待っててくれたんやね

また、ウィキに“Pray for Japan”というページを作ったが、そのメッセージの一つにも「恩返し」という言葉が出て来る(下線筆者)。

- (7) 東北関東大震災 宝地図ムービー あなたたちは一人じゃない  
 日本が世界の支援大国であることを  
 それまで気にしたことなかった。  
 でも、今度は自分達がこんなにも世界からエールをもらって  
 これほど勇気づけられるものはないことを知った。  
 必ずこの国はまた立ち直る！間違いなく！  
 そのとき、またみんなで世界に恩返ししよう。gti4378

教訓はその文化の価値観を表す鏡と言えるもので、授業でも教訓の日米比較には話が弾む。

### 3.5. 題材

短編内の題材は多岐に渡る。(8)に挙げたのは、それぞれの話に現れる“日本的”な事象・概念・慣習、或いは社会問題に関連する語句の例である。

- (8) 「愛用の時計」： 入社、ボーナス、行楽シーズン  
 「因縁」： 因縁、やくざ風、駅でゴルフスイング（人は見かけによらぬ）  
 「俺達、ボランティア」： 生き甲斐、高齢化、無気力な若者  
 「彼女の彼の特別な日」： 血液型、星座（話のきっかけを作る為の質問）、意地、  
 花嫁、結婚式、三枚目  
 「彼の彼女の特別な日」： 四十九日、魂の昇天、未練、輪廻、おばあちゃん子  
 「百合子姫」「怪奇毒吐き女」： 生徒会、文化祭、差し入れ、伏し目がち、  
 色白、清潔、敬語完璧、生け花  
 「真夜中の駅」： 終電と酔っぱらい、幽霊  
 「子猫」： 学習塾、障子・柱・畳、持ち家  
 「会話」： 援助交際、高級フレンチレストラン  
 「最後の仕事」： “不幸の手紙”、婚礼（三三九度、お神酒、祝詞、仲人）  
 「白紙」： 高齢化、姑、仏壇  
 「嘘つきの足」： ホステス、中元、短大、歌舞伎役者、ドスの効いた声  
 「心の扉をたたく音」： キャリアウーマン、不登校

授業ではこれらがどんなもの／ことを表すのか、及び日本における社会通念・ステレオタイプ、時代の変化などについて考える。例えば、「白紙」という話は成人の兄弟二人が一人住まいの母親の事を心配する話である。若い頃に姑に苦しめられた母親は人の邪魔をしたくないと、電話もかけて来ないし、どちらの家族とも同居しようとしなない。そこで、二人はファックスを買ってあげるのだが、それも使わない。ただ一度使ったのは亡くなる直前で、紙の裏表を間違えたため、「白紙」で来た。話の最後に、胸騒ぎがして母の所に駆けつけた弟に「わたし」が「なんて書いてあった？」と訊くのだが、受講生のコピーにはこの答えの部分かわざと抜いてある。このような場合、何と言うかということを考えさせるためである。英語であれば、“I love you”と言う事も多かろうが、日本語では母親が子供に向かって「愛している」と言うことはなく、成人した子供に「好き」と言

うのも変である。正解は「ありがとう」なのだが、ここで、“I love you” が日本語では相手によってどのように表現されるかという話に発展する。

「嘘つきの話」(佐野洋)では、日本で被疑者が起訴されるまでの法的過程、犯罪の種類、銀座のクラブなどの画像、独身者用のアパートの見取り図、関連地図などをウィキに載せ、背景知識として提供した。日本の深層文化についてのコメントはステレオタイプにならぬようにと心がけているが、「ハイネケン・ビールの優れた点について」(村上春樹)にはアメリカ人に対して日本人が持つステレオタイプが書かれている:「自動車とビールと銃は、誰がなんと言おうと、アメリカの大多数の男たちにとっての譲ることのできない最後のピケットラインなのである」(p. 55)。このようなコメントもディスカッションの格好のトピックとなる。

「桑田語、そしてコンビニ語」(村上春樹)では昨今の日本語が題材としてとり上げられている。著者によると、NHKのアナウンサーや桑田佳祐のラ行の発音が「英語の R に近くなるケースがいやに多い」。(ウィキに桑田佳祐の「いとしのエリー」を載せ、受講生に聞かせたところ、むしろ英語の [l] に聞こえるとの感想であった。) また、コンビニでおつりがない時に言われる「\*\*円お預かりします」などは耳障りだとの記載がある。その他、飲食店で「お待たせしました。肉じゃがになります」とウェイトレスが言うのに対して、「おう 肉じゃがになってもらおうじゃないの」と客が答えるイラストが載っていて笑いを誘い、「マニュアル語」についても話をする。

### 3.6. 書き方

当然ながら、話の書き方は色々ある。今回読んだ中で特に特徴的なのは、「気つけ薬」と「最後の仕事」であろう。前者は「私立探偵」と遠くから訪ねて来た「物書き」との会話という想定であるが、話全体が「私立探偵」の側の発話のみで成り立っている。後者は話全体が、盗癖に悩む一人の女性の独り言となっている。前者はいわゆる“男性語”で、後者は“女性語”で書かれている。(9), (10) はどちらも冒頭部分からの引用である(下線筆者)。

#### (9) 大沢在昌「気つけ薬」

遠くからやって来た物書きってのは、あんたかい? どこから来たんだ?  
へえー、そいつは遠い。えらく遠いな。飛行機で何時間もかかるんだろ。...  
おいらも商売がら、変わった野郎は、けっこう見てきているが、あんた、その中でも、特に変わっているうちに入るぜ。

#### (10) 五谷 翔「最後の仕事」

とうとうやっちゃった。だめよ、って心の中で叫んだのよ。でも、手が自然に伸びちゃって。いけないのよ、だいたい、ホテルの誰もいない廊下のソファに高級ハンドバッグを置いて席を立つなんて。どうぞお持ち下さいといわんばかりじゃないの。... 彼はびっくりしたにちがいないわ。



実際には、“男性語”は男性だけが使い、“女性語”は女性だけが使うというものではない。例えば、「会話」の主人公は、高級フレンチレストランでウェイトーに話している時は“女性語”を使うが、自分の頭の中で考えている時は“男性語”になる（下線筆者）。

(11) 赤川次郎「会話」

- a. 「そうね」（由美がウェイトーに）
- b. 「とんでもない奴だ!」（由美の考えたこと）

「百合子姫」（北村薫）は、或る女子高校生が学校では「伏し目がち」で「完璧」な敬語を使って話し、一人の男子下級生に「百合子姫」と密かに呼ばれ、慕われるという話である。しかし、彼女はいったん家に帰ると振る舞いも言葉も乱暴になり、「怪奇毒吐き女」と描写するに相応しくなる（下線筆者）。

(12) 北村 薫「怪奇毒吐き女」

- a. 「こいつ、こっちだけだぜー。——ほら、見ろよ!」
- b. 「おーい、健。今日で十六だろー。いいもの買って来てやったぞー」

「色白で清潔」な「百合子姫」が生徒会の集まりの時に、差し入れの袋菓子を「新しい紙で洒落た器を幾つか折って作り、盛り分けた」という件にも、日本人の価値観・伝統的な女性像が反映されている。“男性語”/“女性語”と並んで格好のディスカッション・トピックとなる。

「嘘つきの足」の書き方にも特徴がある。話全体が「刑事課長（警部）」と「捜査係長（警部補）」との会話のみで成り立っている。そして、前者は終始一貫、普通体で話すのに対し、後者はデス・マス体で話し、要所要所で敬語を使う（下線筆者）。

(13) 佐野 洋「嘘つきの足」

- A 刑事課長「この事件だがねえ。被疑者野沢正弘、二十二歳、学生。被疑事実は強姦未遂、暴行か……。どうも、書類を読んだ限りでは、住居侵入がいいところじゃないかと思うんだがね」
- B 捜査係長「はい、自分もそう考えました。ところが、被害者が嚴重な処罰を求め、とにかく刑務所に入ってもらわなければ、安心できないともうしておりまして……」

地位や年齢の差による言葉の使い分けがあると、話の中でいちいち誰の台詞なのかを明示する必要がない。実際、「ーが言った」という文は省かれることが多い。例(14)は「誘拐」という話の「博士」と「犯人」、(15)は「会話」という話の「ウェイトー」と「五十がらみの横柄な男」の会話の抜粋である。

(14) 星 新一「誘拐」

- 「ま、まってくれ。いくら欲しいんだ」  
「ざっくばらんに申しませう。博士が完成されて秘密にしておられるといううわさの、ロボットの設計図」

「えっ、いや、それは困る」  
「お困りになるのは勝手ですがね」

(15) 赤川次郎「会話」

「恐れ入ります。——こちらのお嬢様は」  
「こいつは何でもいい。魚でも適当にやってくれ」

小説の登場人物は、当然ながら、著者がその役柄に相当だと思いう話し方をする。現実とはギャップがあろうとも、この「役割語」（金水 2003 など）という概念も面白いトピックの一つである。例えば、「因縁」という話では「やくざ風」の男性が登場し、乱暴な言葉で話す。他の日本語の授業ではこのような言葉に触れる事があまりないので、受講生は大いに興味を持つ。

(16) 秋山末雄「因縁」(2002)

「てめえ、さっきから見てりゃあいい気になりゃあがって、いいかげん見ちゃあ  
いられねえぜ、なんじゃい、そのスイングは.....」

前述のように、講座の期末プロジェクトはグループで短編を書かせる。ジャンルや内容の指示は全くしないのだが、毎回幾つかのジャンルに分かれる。そして、受講生達がそれぞれのジャンルに相応しいスタイルを使う事にいつも感心する(2008~2009年の創作短編はコースのウェブサイト、2011年のはコースのウィキに掲載)。2011年の創作短編の内容は以下の通りである。

(17) 2011年の創作短編

昔話： 「掘り出した道具」「かぐや姫 その二」「狐と王子」  
掌編小説： 「ラブストーリー」  
ショートショート： 「犯人の涙」「復讐」「どこに行っちゃったの？」

#### 4. 終わりに

「お話の構造、背景知識の稼働が読解に効果的」と言われている (Fecteau 1999, Shrum and Glisan 2005:160 に引用)。お話は、起承転結が比較的是っきりしており、内容が興味をそそり、学習者に早く読み進みたいという気持ちを起こさせるためであろう。本講座で受講生は、短編のジャンル、作品、作家、題材、書き方、日本人が一般的に知っている話の内容・教訓などについての知識を得、様々な物を読み進む中で、限られた知識ではあるが、日本の短編とはどのようなものかを体験的に学ぶ。同時に、聴、話、読、書の言語スキルを融合的に使いながら、日本の深層文化・日本事情についても学習する。そして、単語、文法、プラグマティクスは明確なコンテキストの中で学習する。しかも、その過程が、受講生達のコメントによると、この上もなく楽しい。本講座が大学生として最後の日本語のコースになる場合が多いが、それまでの日本語学習の集大成として最適だと思う。この種のコースの設立を是非お勧めしたいと思う。

## 引用文献

- 阿久津 智 (1998) 『絵でわかるぎおんご・ぎたいご』アルク
- 岡崎敏雄、川口義一、才田いずみ、畠 弘巳 (1992) 『ケーススタディ日本語教育』桜風社
- 金水 敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語：役割語の謎』岩波書店
- 国際交流基金 (2010) 『(国際交流基金日本語教授法シリーズ 11：日本事情・日本文化を教える) ひつじ書房
- 駒井 明 (1987) 『NAFL Institute 日本語教師養成通信講座 6：読み方の教育』アルク
- ハドソン・遠藤 陸子 (2008) 「短編を通して『日本』を教える：5技能融合・5C 実践の短編講読講座」畑佐由紀子 (編) 『外国語としての日本語教育』 pp. 103-118. くろしお出版
- 近松暢子 (2011 掲載予定) 「ツールを超えた思考プロセスとしての日本語へ：コンテンツベースにおける批判的・創造的思考活動の可能性」 *Journal CAJLE* 12.
- 近松暢子 (2009) 「米国におけるコンテンツ・コミュニティベース授業の試みー米国シカゴ日系人史ー」 『世界の日本語教育』 19, pp. 141-156.
- Fecteau, M. L. (1999). First- and second-language reading comprehension of literary texts. *The Modern Language Journal*, 83, 475-493.
- Forehand, Mary. (2005). Bloom's taxonomy: Original and revised. In M. Orey (Ed.), *Emerging perspectives on learning, teaching, and technology*. Available Website: <http://www.coe.uga.edu/epltt/bloom.htm>.
- National Standards in Foreign Language Education Project (NSFLEP). (1999) *Standards for Foreign Language Learning: in the 21st Century*. Lawrence, KS: Allen Press.
- Rivers, Wilga M. (1981). *The Language Teaching Matrix*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Shrum, Judith L., and Glisan, Eileen W. 2005. *Teacher's Handbook: Contextualized Language Instruction* (3<sup>rd</sup> ed.). Thomson & Heinle.
- Stryker, Stephen B., and Betty Lou Leaver (eds.) (1997). *Content-based Instruction in Foreign Language Education: Models and Methods*. Georgetown University Press.

## ビデオ

- 日本語ジェンダー学会 (2005) 『物語を通して見る日本語とジェンダーー「竹取物語」と「鶴の恩返し」ー』  
『女刑事みずきー京都洛西署物語ー』

## 参考ウェブサイト

2009年とそれ以前の短編講読講座受講生の短編

<http://www.msu.edu/course/asn/491>

2011年短編講読講座のウィキ <http://2011-tanpen.wikispaces.com/ホーム>

prayforjapan.jp <http://prayforjapan.jp/message/>

大辞林 <http://dic.yahoo.co.jp/>

東北関東大震災 宝地図ムービー あなたたちは一人じゃない

[http://www.youtube.com/watch?feature=player\\_embedded&hl=ja&v=IxUsgXCaVtc](http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&hl=ja&v=IxUsgXCaVtc)

見るなのタブー <http://ja.wikipedia.org/wiki/見るなのタブー>

### 資料1. 作品の出典

著者	出版年	作品名・収録書・出版社
赤川次郎	2002	「会話」日本推理作家協会編『自選ショート・ミステリー』pp. 9-16. 文藝春秋社
秋山末雄	2002	「因縁」阿刀田 高編『ショートショートの広場 13』講談社 pp. 81-82.
芥川龍之介	1918	「蜘蛛の糸」 In Japanese Language Promotion Center (Ed.) (1980), <i>Intensive Course in Japanese: Intermediate</i> , pp. 324-328, 390-392. Language Services
内海隆一郎	1993	「真夜中の駅」「子猫」内海隆一郎『街の眺め』pp. 108-110, 126-128, 198-200. 文藝春秋社
江國香織	2004	「そばにいてくれた？」ダ・ヴィンチ編集部編『君へ。つたえたい気持ち三十七話』pp. 34-39. メディアファクトリー
大沢在昌	2001	「気つけ薬」日本推理作家協会編『自選ショートミステリー2』pp. 9-17. 講談社
北村 薫	2005	「百合子姫」「怪奇毒吐き女」ダ・ヴィンチ編集部編『秘密。私と私のあいだの十二話』pp.125-135. メディアファクトリー
国際基督教大学語学科日本語研究室編	1966	「浦島太郎」「花咲かじいさん」 <i>Modern Japanese for University Students, Part II</i> , pp. 1-3. 国際基督教大学
五谷 翔	2001	「最後の仕事」日本推理作家協会編『自選ショートミステリー2』pp. 52-54. 講談社
佐野 洋	2002	「嘘つきの足」日本推理作家協会編『殺人買います』pp. 52-73. 講談社
三藤英二	2002	「俺達、ボランティア」阿刀田高編『ショートショートの広場 13』pp. 130-132. 講談社
高橋源一郎	2004	「白紙」ダ・ヴィンチ編集部編『君へ。つたえたい気持ち三十七話』pp. 180-184. メディアファクトリー
千世繭子	2001a	「したきりすずめ」「ももたろう」『日本のむかし話 一年生』pp. 98-114, 138-149 偕成社
千世繭子	2001b	「十二支のはじまり」『日本のむかし話 二年生』pp. 24-42 偕成社
千世繭子	2001c	「うばすて山」『日本のむかし話 三年生』pp. 96-103. 偕成社
ディスカヴァー21編集部	1997	<i>I miss you.</i> ディスカヴァー・トゥエンティワン
星 新一	1998	「愛用の時計」「不眠症」「ボッコちゃん」「誘拐」岡まゆみ『中上級者のための速読の日本語』pp.116-133. ジャパンタイムズ
村上春樹	1997	「桑田語、そしてコンビニ語」村上春樹・安西水丸『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』pp. 301-305. 新潮社
村上春樹	1997	「ハイナケン・ビールの優れた点について」村上春樹・安西水丸『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』pp. 51-55. 新潮社
森 絵都	2005	「彼女の彼の特別な日」「彼の彼女の特別な日」ダ・ヴィンチ編集部編『秘密。私と私のあいだの十二話』pp. 27-37. Media Factory

資料 2. 講座のシラバスと進度予定表

担当教師： ハドソン遠藤陸子	電話： 517-432-7164
研究室： ウェルズホール A-633 号室	ファックス： 517-432-2736
相談の時間： 月木 4時40分～5時40分 (前もってアポイントを取ること)	メール： endo.hudson@gmail.com HP: <a href="http://www.msu.edu/~endo">www.msu.edu/~endo</a>

JPN 441. Japanese Short Stories (3 credits), Spring 2011

明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願ひします。

うさぎどし  
平成 23 年 = 卯 年

たんべんこうどく たんい  
2011 年春学期「日本語短編講読」(3単位)

月・水：午後3時～4時20分、ウェルズホール C-316

**一、コースの主な目的**

- (1) 日本語を読む楽しみを発見する。
- (2) 読みのストラテジーを身に付け、日本語でより速く、正確に読めるようになる。
- (3) 様々のジャンルによく使われる表現、文型、漢字などを覚える。
- (4) 日常よく使われる擬音語・擬態語やことわざ・慣用句などを覚える。
- (5) 読み物を通して、日本的な考え方・日本事情を学ぶ。

**二、教材**

- (1) 読み物：コースブック (内容は目次を参照)
- (2) 阿久津 智 『絵でわかるぎおんご・ぎたいご』アルクプレス (1998)

**三、授業の主な内容**

- (1) 各学生が自分の担当の箇所を音読し、質問に答えたり、説明する。
- (2) 読み物の内容、表現、読みのストラテジーなどに関する質疑応答。
- (3) 読んだ話の教訓、感想、話の続きの予測、それぞれのジャンルの特徴、  
日本的な考え方・日本事情などに関するディスカッション。
- (4) 擬音語・擬態語、男性語・女性語、ことわざ・慣用句などの練習。

---

担当 (たんとう) = in charge ; 短編 (たんべん) = 短い話 ; 講読 (こうどく) = 読む ;  
 発見 (はっけん) = 見つける ; 身 (み) に付ける = 学ぶ / 知る ; より = もっと ;  
 正確 (せいかく) = 間違わないで ; 表現 (ひょうげん) = 言い方 ; 文型 (ぶんけい) =  
 sentence structures ; 日常 (にちじょう) = ふつう ; んご音語 = オノマトペ / 音を表す言葉 ;  
 擬態語 (ぎたいご) = 物事 (ものごと) や心の様子 (ようす) を表す言葉 ;  
 ことわざ = proverb/saying ; 慣用句 (かんようく) = idiom ; X を通 (とお) して = X から ;  
 事情 (じじょう) = 出来事 (できごと) や様子 (ようす) ; 目次 (もくじ) = 内容のリスト ;  
 参照 (さんしょう) = 見る ; 各 (かく) X = each X ; 箇所 (かしよ) = 所 ; 質疑応答 (しつぎ おう  
 とう) = 質問と答 ; 教訓 (きょうくん) = moral/lesson of the story ; 予測 (よそく) = predict

#### 四、成績

(1) 準備・授業参加 : 10%

毎回 準備をして授業に出席し、話し合いに積極的に参加する。  
欠席、遅刻、早引きは減点。欠席が前もって分かっている時は教師に連絡。  
病気の場合は自分の平均点をもらう。

(2) 宿題 (「進度予定表」参照) : 15%

単語リスト : [angel.msu.edu](http://angel.msu.edu) を見て、担当の箇所の知らない単語や漢字を辞書で調べて単語リストを作り、前日の夜9時までにメールで教師に送る。

(添付ファイルは MS Word で作り、ファイル名は smith.HW1.doc など)

音読 : 自分の担当の箇所が授業の時にすらすら読めるように練習をする。

読み : 担当以外の所も読み、予習・復習をする。内容は全部分かる必要はないが、大切なことは分かるように努力する。それぞれの話の書き方にも注意を払う。

感想文 (4回) : その期間に読んだ短編の中の一つの話について書き (約 300 字)、メールで送る。教師のコメントに従って書き直し、再提出しないと点にならない。

(3) ぎ音語・ぎ態語のクイズ (「進度予定表」参照) : 10%

『絵でわかるぎおんご・ぎたいご』の本を読み、自習する。  
クイズは、授業の始めの5分にする。追試なし。主に選択問題。

(4) 読み物に関するクイズ (「進度予定表」参照) : 30%

読み物に出て来た重要な表現や文型について。主に選択問題。  
(自習用ハンドアウトあり)

(5) 中間試験 : 10%

2月28日(月) : 初見の読み物の読解。辞書の使用可。主に選択問題。

(6) 期末試験 : 15%

5月3日(火) : 初見の読み物の読解。辞書の使用可。主に選択問題。

(7) 短編創作 (「進度予定表」参照) : 10%

「短編」 : 2-3人のグループで、ワープロで約1000字の話を書く。ジャンルは何でも良い。

発表 : 期末試験のすぐ前。学生の間で「内容賞」と「発音賞」を投票。

評価 : よく考えてあり、内容が面白く、構成も良い (50%)

色々な単語、文型、漢字を使用 (25%)

単語・文法・字などの間違いが少なく、分かりやすい (25%)

参加 (さんか) = participate ; 積極的 (せっきょくてき) = active ;  
欠席 (けっせき) ⇔ 出席 ; 減点 (げんてん) = 点が少なくなる ;  
連絡 (れんらく) = contact ; 進度 (しんど) = 進み方 ;  
参照 (さんしょう) = 見る ; 担当 (たんとう) = in charge ;  
箇所 (かしよ) = 所 ; 添付 (てんぷ) = attachment ;  
努力 (どりょく) する = がんばる ; 期間 (きかん) = period ;  
従 (したが) う = follow ; 再 (さい) 提出 (ていしゅつ) =  
もう一度出す ; 追試 (ついし) = make-up ; 選択 (せんたく) = 選ぶ ;  
初見 (しょけん) = 初めて見る ; 可 (か) = 可能 (かのう) = OK ;  
賞 (しょう) = award ; 投票 (とうひょう) = vote ;  
評価 (ひょうか) = evaluation ; 構成 (こうせい) = organization



たんべんこうどく  
2011年春学期 JPN 441. 日本語短編講読：進捗予定表  
〔注：（ ）の語は時間があつたら授業で読む〕

日時	クイズ	授業	その日までの宿題
01/10(月)	-----	コース・CPの説明、神話①「イザナギとイザナミ」 昔話②「浦島太郎」、③「花咲かじいさん」	-----
01/12(水)	I-1. いらいら、むかむか、 うんざり、うっとり	昔話④「桃太郎」 ⑤「舌切りすずめ」、ぎ音語・ぎたい語、漢字	④-⑤の自分の分の 単語リスト・読み
01/19(水)	I-2. どきどき、わくわく、 はらはら、ぞくぞく	昔話⑥「十二支のはじまり」 ⑦「うばすて山」、感想文について	⑥-⑦の自分の分の 単語リスト・読み
01/24(月)	I-3. ほっと、すっきり、 がっかり、はっと、ぎょっと	昔話⑧「かぐや姫」 ⑨「つるのおんがえし」(+ビデオ)	⑧-⑨の自分の分の 単語リスト・読み
01/26(水)	読み物に関するクイズ1 (②-⑨)	短編小説⑩「くもの糸」 日本の歌、『アイ・ミス・ユー』など	②-⑨の1つの感想文1、 CP pp.56-58を読む
01/31(月)	I-4. うきうき、そわそわ、びくびく； I-5. おろおろ、くよくよ	ショートショート⑪「誘拐(ゆうかい)」 ⑫「愛用の時計」	⑪-⑫の自分の分の 単語リスト・読み
02/02(水)	I-6. しょんぼり、ぼんやり、 にこにこ、けろりと、びんびん	ショートショート⑬「不眠症(ふみんしょう)」 ⑭「ポッコちゃん」	⑬-⑭を読む
02/07(月)	I-7. だらだら、ぐずぐず、 うろろう、よろよろ、うとうと	ショートショート⑮「因縁(いんねん)」 ⑯「俺達、ボランディア」	⑮-⑯の自分の分の 単語リスト・読み
02/09(水)	I-8. ペこペこ、からから、 ふらふら、くたくた、がくがく	感想文1の発表、復習、漢字など	⑩-⑯の1つについての 感想文2
02/14(月)	読み物に関するクイズ2 (⑩-⑮)	掌編小説⑰「真夜中の駅」(掌編 しょうへん) ⑱「子猫」(「図書館通り」)	⑰-⑱の自分の分の 単語リスト・読み
02/16(水)	I-① がんがん、ずきずき、 ちくちく、ひりひり	掌編小説⑲「彼女の彼の特別な日」 ⑳「彼の彼女の特別な日」	⑲-⑳の自分の分の 単語リスト・読み
02/21(月)	II-1. じっと、じろじろ、 べらべら、すらすら、ぶうぶう	掌編小説㉑「百合子姫(ゆりこひめ)」 ㉒「怪奇毒吐(かいきどくは)き女」	㉑-㉒の自分の分の 単語リスト・読み
02/23(水)	II-2. ぐつぐつ、ぐるぐる、 げらげら、ぶるぶる、ごしごし	掌編小説㉓「そばにいてくれた？」 ㉔「白紙」(「嬉しい知らせ」)	㉓-㉔の自分の分の 単語リスト・読み
02/28(月)	-----	中間試験(辞書の持ち込みOK)	⑰-⑱の1つの感想文3
03/02(水)	読み物に関するクイズ3 (⑰-⑳)	感想文2の発表 ミステリー㉕「会話」	㉕の自分の分の 単語リスト・読み
03/14(月)	II-4. きつぱり、ちゃんと、 しっかり、はっきり、ちゃっかり	ミステリー㉖「会話」 ㉗「最後の仕事」	㉖-㉗の自分の分の 単語リスト・読み
03/16(水)	II-5. ざっと、こっそり、 そっと、うっかり、のろのろ	推理(ずいり)小説㉘「気つけ薬」	㉘の自分の分の 単語リスト・読み
03/21(月)	III-1. きらきら、びかびか、 がたがた、ぐらぐら、ゆらゆら	推理小説㉙「気つけ薬」 感想文3の発表、男性語・女性語の練習	㉙の自分の分の 単語リスト・読み
03/23(水)	III-3. ぼきぼき、ざあざあ、 びりびり、ごろごろ、ぶくぶく	推理小説㉚「嘘(うそ)つきの足」	㉚の自分の分の 単語リスト・読み
03/28(月)	III-4. ばらばら、めちやくちや、ごちや ごちや、でこぼこ、くしゃくしゃ	推理小説㉛「嘘つきの足」	㉛の自分の分の 単語リスト・読み
03/30(水)	III-5. ぼろぼろ、びしょびしょ、 どろどろ、こちこち、かさかさ	推理小説㉜「嘘つきの足」	㉜の自分の分の 単語リスト・読み
04/04(月)	III-6. あっさり、さっぱり、 こつてり、からっと、ぴりっと	推理小説㉝「嘘つきの足」	「短編」のアウトライン
04/06(水)	-----	推理小説㉞「嘘つきの足」、復習	㉞-㉟の1つの感想文4
04/11(月)	読み物に関するクイズ4(㉞-㉟)	小話、笑い話、川柳、俳句、短歌など	「短編」
04/13(水)	III-7. ねばねば、ぬるぬる、 べたべた、じめじめ、むんむん	エッセー㉟「ハイネケン」 ㊱「コンビニ語」(「僕らの世代」)	㉟-㊱の自分の分の 単語リスト・読み、「短編」
04/18(月)	III-8. ざらざら、つるつる、ごつ ごつ、ふわふわ、ぐにやぐにや	エッセー㊲「心の扉(とびら)をたたく音」 ㊳「白い木蓮(もくれん)」、復習	「短編」の初版(first v.) と単語リスト
04/20(水)	III-10. がらがら、びったり、 ぎりぎり、すれすれ、だぶだぶ	ドラマのビデオ	「短編」
04/25(月)	ぎ音語・ぎたい語のクイズ	感想文4の発表、復習、詩(し)、ことわざ、 「気」のつく言葉、ぎおん語・ぎたい語など	「短編」の改訂版(rev'd v.)
04/27(水)	-----	「短編」をグループで読む練習(教室で)	「短編」の最終版(final v.)
05/03(火)	午後3時～4時 学生が書いた「短編」のグループ発表・投票；午後4時～5時 期末試験(辞書の持ち込みOK)		